

# 脳神経外科



副院長  
塚原 徹也

専門医資格等  
日本脳神経外科学会  
専門医  
日本脳卒中学会 専門医  
専門分野  
脳神経外科  
得意疾患  
脳血管障害



診療科長  
福田 俊一

専門医資格等  
日本脳神経外科学会  
専門医  
日本脳卒中学会 専門医  
専門分野  
脳神経外科  
得意疾患  
脳動脈瘤  
良性脳腫瘍  
頭蓋底手術  
バイパス術

## □ スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	青木 友和	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本癌治療学会 暫定教育医	脳神経外科	脳腫瘍(悪性)、下垂体腫瘍、顔面痙攣、三叉神経痛
医 師	川端 康弘	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 脳神経血管内治療学会 専門医	脳神経外科	脳血管障害、脳血管内治療、脳腫瘍
医 師	河原崎 知	日本脳神経外科学会 専門医	脳神経外科	

## □ 診療科の特徴

施設認定等 日本脳神経外科学会研修施設

1. 当科は、脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に24時間対応し、地域救急医療に貢献していると同時に、困難な脳神経系疾患に対して集約的な治療も行っています。
2. 脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄疾患など脳神経外科領域全般にわたって、患者さんの入院および外来加療を行っています。
3. 脳神経外科領域の疾患では、緊急に手術等の処置を行わなければ生命にかかわる場合もあれば、逆に病気はあるものの、定期的に外来で経過を観て行くことが適当である場合もあります。
4. 上記3のような場合を除けば、手術をすべきかどうかは、その疾患自体だけではなく、症状や年齢、全身状態、手術の難易度、さらには患者さんの性格や家族構成などを考慮して決めるべきであり、たとえ同じ疾患でも個々の患者さんによって方針が異なってきます。
5. 私たちは、患者さんご自身やご家族に十分に病気についての説明をし、相談をした上で、インフォームドコンセントをとり、その上で適切な治療方針をとることが大切であると考えています。
6. いったん手術が必要であると決まった場合には、たとえ難易度の高い手術でも、従来の顕微鏡を用いた開頭手術に加え、血管内手術や神経内視鏡手術などの様々な手術法を用い、積極的に治療を行っています。

## □ 主な対象疾患

- ・脳血管障害(脳梗塞・クモ膜下出血・未破裂脳動脈瘤・脳内出血・その他の脳血管障害)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)
- ・神経内視鏡手術
- ・頭部外傷
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛)

## □ 診療(業務)内容

- ・脳血管障害(脳梗塞に対する血行再建術・破裂および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術および脳動静脈奇形・脳内出血に対する開頭摘出術、内視鏡手術)
- ・脳神経血管内治療(脳動脈瘤塞栓、ステント設置、腫瘍塞栓、脳動静脈奇形塞栓、急性期血管血行再建など)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)に対する摘出術
- ・神経内視鏡手術(下垂体腫瘍、脳室内腫瘍、水頭症、脳内出血など)
- ・頭部外傷(血腫除去術)
- ・脊椎背髄疾患
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経減圧術)
- ・頭蓋底および頸部腫瘍:腫瘍摘出および血行再建術

## □ 診療実績(平成26年度)

入院患者数

	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2014年度	19.3名	335名	19.5名

外来患者数

	1日平均患者数
2014年度	34.8名

主な手術・検査の件数など

	脳動脈瘤	脳腫瘍	脳血管内手術	脳動静脈奇形	頸動脈内膜剥離術	血管バイパス術
2014年度	22件	50件	64件	2件	9件	14件

## □ 地域医療連携・広報活動

第12回脳卒中市民講座 2015年1月10日 於:京都医療センター

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国際学会	Miyuki Fukuda, Shunichi Fukuda, Joji Ando, Koji Hasegawa; The role of wall shear stress on cerebral aneurysm development via P2X4 ion channel, a sensor for shear stress mechanotransduction, in vascular endothelial cells. Experimental Biology 2014, April 30, 2014, San Diego, CA
国際学会	Yasuhiro Kawabata; Perioperative myocardial infarction of carotid artery stenting 52nd American Society of Neuroradiology 2014.5.17~22 Montreal, Canada
国際学会	Aoki T, Mizutani T, Nojima K, Takagi T, Okumura R, Yuba Y, Ueba T, Takahashi JA, Miyatake S, Nozaki K, Taki W, Matsutani M; Phase II Study of Ifosfamide, Carboplatin and Etoposide for Patients with Glioblastoma at first relapse. 19th Annual Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-Oncology November 13-16, 2014 Miami, Florida
国際学会	Yasuhiro Kawabata, Tetsuya Tsukahara, Kohsuke Yamashita, Hidenori Miyake, Shunichi Fukuda, Tomokazu Aoki, Satoru Kawarazaki; Thromboembolism During Coil Embolization Of Ruptured And Unruptured Cerebral Aneurysm Congress of Neurological Surgeons 2014 Annual Meeting November 18-22, 2014 Boston, USA
国際学会	Shunichi Fukuda, Yuji Shimogonya, Miyuki Fukuda; Investigations Using a Combination of Computational Fluid Dynamics Technique and an Animal Model of Experimentally Induced Cerebral Aneurysms Suggest Important Roles of Wall Shear Stress on the Cerebral Aneurysm Development International Stroke Conference 2015 Feb 11, 2015 Nashville, TN
国内学会	福田俊一、塚原徹也、青木友和、川端康弘、河原崎知、安里亮:頭頸部悪性腫瘍治療における頸動脈血行再建術について 第67回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2014年4月5日 大阪
国内学会	青木友和:悪性グリオーマとギリアデル 第34回日本脳神経外科コンgres総会 2014年5月16日 大阪
国内学会	田中将志、松尾禎之、佐々木洋介、山陰一、村中和哉、塚原徹也、島津章、浅原哲子:頸動脈プラーク浸潤マクロファージ及び末梢血単球のM1/M2様形質に及ぼす肥満・糖尿病の影響 第35回日本肥満学会 2014年10月24日~25日 宮崎

国内学会	伊東悠貴、福田俊一、川端康弘、塚原徹也、青木友和、河原崎知：治療が困難であったPICA近位部破裂動脈瘤の1例 第68回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2014年9月6日 大阪
国内学会	青木友和：悪性グリオーマとBUNUウェハー 第19回日本脳腫瘍の外科学会 2014年9月13日 東京
国内学会	福田俊一、下権谷祐児、塚原徹也、福田美雪：共同臨床研究未破裂脳動脈瘤の増大・破裂危険因子に関するCFD解析を用いた研究 (CFD ABO Study) の開始について 第73回日本脳神経外科学会総会 2014年10月10日 東京
国内学会	青木友和：再発悪性神経膠腫に対するTemozolomideとACNU併用科学療法(第I/II相試験) 第32回日本脳腫瘍学会学術集会 2014年11月30日 東京
国内学会	川端康弘：破裂囊状脳動脈瘤の治療成績 第30回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 2014年12月5日 東京
国内学会	福田俊一、下権谷祐児、井本恭秀、塚原徹也、青木友和、川端康弘、河原崎知、福田美雪：脳動脈瘤発生における血行力学的因子の役割についての検討～数値流体力学(CFD)的解析～ 第40回日本脳卒中学会総会 STROKE2015 2015年3月26日、広島
国内学会	川端康弘、塚原徹也、福田俊一、青木友和、河原崎知、齊ノ内信：後下小脳動脈が硬膜内外からの二重起始であったために母血管閉塞が可能であった椎骨解離性脳動脈瘤の一例 第40回日本脳卒中学会総会 STROKE2015 2015年3月26日、広島
国内学会	後藤昌広、大谷良、川端康弘、齊ノ内信、安田謙、村瀬永子、中村道三、塚原徹也：放射線治療後の頸部血管狭窄に対して血管内治療を施行した2症例の検討 第40回日本脳卒中学会総会 STROKE2015 2015年3月26日、広島

## □ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者・タイトル
Acta Neurochirurgica (Wien) Suppl.119	Takeo Hatano, Tetsuya Tsukahara; Endovascular treatment for intracranial vertebral artery stenosis Acta Neurochirurgica (Wien) Suppl.119:83-89, 2014
脳神経外科ジャーナル Vol.23 (2014) No.8	福田俊一、下権谷祐児：脳動脈瘤の形成・増大・破裂における血行力学的因子の役割について—計算流体力学(CFD)解析と動物モデルによる実験を相補的に用いた検討— 脳神経外科ジャーナルVol.23 (2014) No.8: 622-666
Neurol Med Chir (Tokyo) 54	Tomokazu AOKI, Ryo NISHIKAWA, Kazuhiko SUGIYAMA, Naosuke NONOGUCHI, Noriyuki KAWABATA, Kazuhiko MISHIMA, Jun-ichi ADACHI, Kaoru KURISU, Fumiyuki YAMASAKI, Teiji TOMINAGA, Toshihiro KUMABE, Keisuke UEKI, Fumi HIGUCHI, Tetsuya YAMAMOTO, Eiichi ISHIKAWA, Hideo TAKESHIMA, Shinji YAMASHITA, Kazunori ARITA, Hirofumi HIRANO, Shinobu YAMADA, and Masao MATSUTANI for the NPC-08 study group; A Multicenter Phase I / II Study of the BGNU Implant (Gliadel® Wafer) for Japanese Patients with Malignant Gliomas Neurol Med Chir (Tokyo) 54,290–301, 2014
Acta Neurochirurgica Suppl.119	Tetsuya Tsukahara, Giuseppe Esposito, Hans-Jakob Steiger, Gabriel J.E.Rinkel, Luca Regli. Trends in Neurovascular Interventions Acta Neurochirurgica Suppl.119: 2014
国立医療学会誌 医療 Vol.68 No.9	塚原徹也、瀬田公一：京都医療センターでの医療連携への取り組み 国立医療学会誌 医療 Vol.68 No.9 (433-441) 2014